

阿弥陀岳・赤岳・キレット・西岳山行

2012.8.19～20 単独行

当初計画は室堂～剣沢雪渓～真砂沢ロッジ（泊）～ハシゴ谷乗越～内蔵助平～黒四ダムのコースであったが前夜に訳あって秋に変更。さて何処へ行くか？ 野の花さんの行ったキレット越えにする。今年は「キレット年」にしようかなとも思う。不帰・大キレットと。体力的にも最後の年になりそうだし。昔 天女山～権現～キレット～赤岳頂上小屋（泊）～真教寺尾根～美し森と歩いた。美し森に車を置いて天女山までタクシー利用した。今回はどうするか？ 夏の繁忙期でタクシーは無理。舟山十字路から入り、信玄の隠し水からの「破線」ルートにする。それ以外方策は無い。ネットでその「破線」区間を検索するがあまり良い事は書いて無い。イクツキヤ無い！もう寝ないと。まあ歩き慣れた八ヶ岳なので心配はない。

8/19（日） 晴れ。 4:20～（諏訪南IC経由）6:30 舟山十字路登山口（89KM） 6:55～8:15 御小屋山（2137M）8:25～9:05 不動清水 9:10～11:10 阿弥陀岳（2805M）昼食 12:10～13:50 赤岳（2899M）～14:00 赤岳頂上小屋（泊）

眼が覚めたので出かける。単独での長所だ。人と約束ではこうは行かない。買い物して、SAで朝食。諏訪南IC出てからまた道迷い。一度行った登山口なのに。舟山十字路登山口には数台駐車している。「破線区間」で下山なので広河原方面に偵察に行く。「阿弥陀聖水」でペットボトルに水を入れている人がいる。その先で林道は右折が「立場川キャンプ場」への道。左折は広河原方面であるがそれらしい所がないので引き返して舟山十字路登山口に駐車することにする。支度をしていると2台の車が到着する。1台は山梨ナンバーの若手の単独。阿弥陀岳まで日帰り往復との事。1台は2名で立場岳へ行く感じ。「旭小屋」もあり、阿弥陀南陵コースもある。歩いてみたいコースだが。御小屋山へは急な所もあるが、歩きやすい登山道。しかし気温が高くて汗がやたらと出る。（御小屋山の手前から破線コースで御小屋～美濃戸口～御小屋山～舟山十字路と未踏区間を歩いた事がある。諏訪の御柱祭の御柱を切り出す所のような。）御小屋山頂は樹木で展望の効かない所。

御小屋山山頂



昔此処から美濃戸山荘方面に踏み跡らしきものがあったので下った事がある。矢張り美濃戸山荘に下れた。御柱を運んだ跡だったようだ。（この時は美濃戸山荘～行者小屋～阿弥陀岳～御小屋尾根～美濃戸口～美濃戸山荘と日帰りだったので儲かった）御小屋尾根は歩く人は少ないが歩きやすい登山道。不動清水という水場がある。

そこからは標高差 500Mの急な登りになる。夏山の最盛期最後の日曜日で下山者が多い日だが矢張りこのコースは人気がないので下ってくる人の数は少ない。細い登山道なので助かる。今までの登山で一番汗をかいたと思う。タオルがビッショリ濡れた。勿論「人工内耳のプロセッサ」ははずした。汗で器具が壊れてしまうので。阿弥陀岳山頂は登山者で賑わっていた。

阿弥陀岳山頂。後方は赤岳



真ん前に主峰赤岳が鎮座している。ユックリ昼食食べながら休憩。阿弥陀南陵の登山道も踏み跡がある。マニアが利用しているようだ。此处から中岳を超えて歩きずらい赤岳の登りになる。

阿弥陀岳山頂下から中岳・赤岳を望む

登山者の数も多くなる。ジャコウソウ・ミヤマコゴメグサ・イワツ



メクサなど高山植物も多い。コマクサもまだ咲いている。何年ぶりかの赤岳山頂に。小屋に入り食堂で缶ビール 500ML 2本を飲む。今日は大汗かいたので特にうまい。清里・川上村などを見おろし、赤岳天望荘～横岳への縦走路を眺めながら。この小屋は本沢温泉グループなので、前回 山びこ荘でもらったスタンプカードで宿泊料が 500円引きになった。小屋は私の作戦通り（8/19 から山小屋は空く）空いている。御小屋尾根から前後した奈良からのグループ・75歳の元気な髭の仙人の広島からのグループ・稲城市からの百名山を目指して登山を始めた単独者などと話をする。

赤岳頂上山荘



8/20 (月) 快晴～晴れ 6:05～7:25 キレット小屋 7:45～9:10 権現小屋 9:15～10:20 青年小屋 (昼食) 11:15～12:10 西岳 12:40～14:00 広河原への分岐～14:25 林道に出る～14:45 阿弥陀聖水 14:50～14:55 舟山十字路 15:05～原村もみの湯で入浴・諏訪IC経由～ 17:30 自宅 (総走行 170 KM)

富士山



キレットで赤岳を振り返る。小屋も見えます。



素晴らしい天気です。北・中央・南アルプスが一望。富士山も。ガラ場の多い歩きズライ キレットを下る。危険な個所のほとんど無い登山道だ。すれ違った青年に水場の事を聞くと枯れているとの事。あてにしていたので弱った。小屋で飲み物を買おうと思う。小屋の直前で大きな荷を背負った歩荷風の若者とすれ違う。キレット小屋の小屋番との事。お茶を置いてあるのでそれを飲んでくれと言う。

キレット小屋

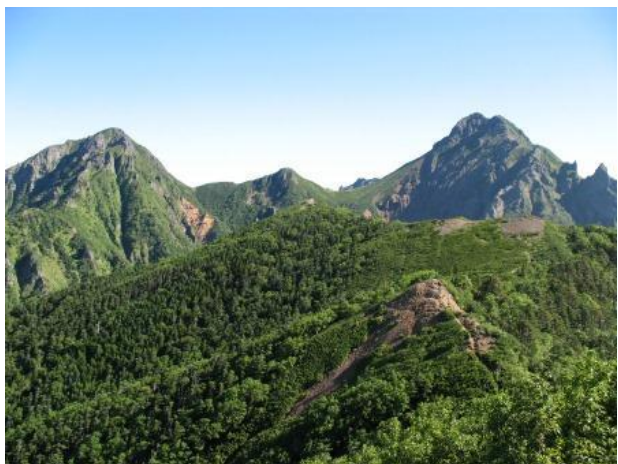


小屋は新築されていた。お茶をご馳走になって出発。権現まではそんなに登りでもないし、今日は昨日と違って爽やかな風が吹いていて何とかかなりそう。権現小屋に寄ってみるがここも「歩荷中」の看板が出ている。青年小屋を目指す。八ヶ岳は小屋の数が多し。トイレ問題含めて快適・安心な山域と思う。途中ミヤマナデシコの群生地があった。花も多い登山道でありとても気持ちが良い。

キレットを振り返る



右から赤岳・中岳・阿弥陀岳



青年小屋の手前はオトギリソウの群生地。昔のままの青年小屋に到着。「通り飲み屋」の提灯が良い。缶ビール2缶飲んでユックリする。

青年小屋



青年小屋と編笠山

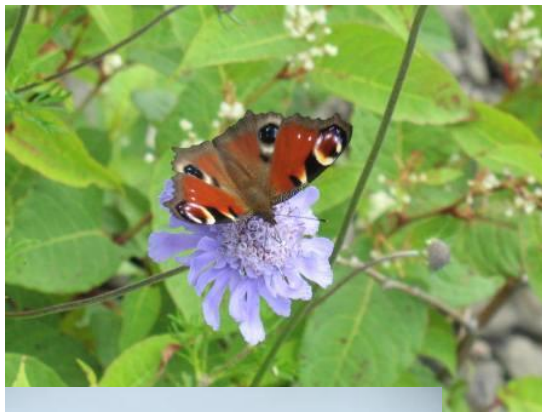


此処はのどかで落ち着く感じ。前方には山頂までほぼ直線の登山道の編笠山がそびえている。小屋番は女性。西岳方面に4分ほど歩くと「乙女の水」場がある。

乙女の水



マツムシソウとクジャク蝶



美味しい水をタップリ飲む。ペットボトルにも補充する。この源治新道は歩く人は少ないがアップダウンの少ない歩きやすい



登山道だ。西岳山頂は何度も来たが南アルプスの展望台だ。

マツムシソウが群生しているのが特徴。私も歩いたが、富士見高原の不動清水からの登山者が多い。山頂にいた3組もそのコース。私がこれから下る立場川キャンプ場コースは登山者は少ない。前回歩いた時も今回も誰にも会わなかった。でも歩きやすい登山道だ。問題は「破線コース」の入り口を見つける事が今回の宿題である。前回水を補充した「信玄の隠し水」場付近が分岐点に地図上なる。水場への道に入らず、とりあえず直進して下る。なかなかネットで見た案内板が無い。矢張り水場付近かと思い引き返そうと思っていたら前方に案内板がある。「広河原」方向に薄い・細い踏み跡が続いている。

広河原入り口標識



うす暗い陰気な道だ。イクツキヤ無い！所々にテープがある。登山者は極少数できのこ採りの道の感じ。途中何か所かに「きのこ山・立ち入り禁止」の看板がある。蛇・熊に注意しながら歩く。林道に出た。小沢を2つ渡るとゲートがあった。此处が広河原のようだ。旭小屋～立場岳～阿弥陀南陵～阿弥陀岳のルートの入りのようだ。立場川キャンプ場への林道分岐がある。昨日の偵察もあり安心。その先の「阿弥陀の聖水」で水を飲む。これはまさに名水！兎に角 冷たいのだ！「乙女

の水」場より標高がかなり低いのに何で？感激はさらに続く。

フシグロセンノウ

冷たい名水



何と道端に「フシグロセンノウ」の群生！

下山後入ったもみの湯



チシマギキョウ



イブキジャコウソウ



ミヤマナデシコ



トリカブト



ミヤママンネングサ



トウヤクリンドウ



ミネウスユキソウ



ミヤマコゴメクサ



シナノオトギリ



今回の山行は天気・花に恵まれ、締めは冷たい名水とフシグロセンノウ！ 初日は大汗かいたけど、良い山行でした。但し翌日から未だに筋肉痛。体力は確実に低下、膝・腰は確実に登山を続ける限界に近ずきつつある。今回は2日目青年小屋まで両膝サポーター使用した。(8/24 記)